

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】ソーシャルスキル教育

クラスCD	ロ-301	開講日・定員	10/25(日)・35名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	ソーシャルスキル教育	講習の形態	講義および演習
担当講師名(ふりがな)	渡部 玲二郎(わたなべ れいじろう)	所属	大学院教育学研究科
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	幼・小・中・特別支援学校教員	担当時間	6時間
講習内容	いじめや不登校など、学校で起きている様々な問題の背景には、子どもの不適切な自己表現やコミュニケーション能力の不足があると考えられる。そこで、ソーシャルスキル教育の観点から、子どものコミュニケーション能力の測定方法やコミュニケーション能力を高める方法について理解を深める。		
到達目標	1. ソーシャルスキル教育について理解する。 2. コミュニケーション能力の測定方法やコミュニケーション能力を高める方法について理解する		
受講者への 事前連絡事項			
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】考え、議論する道德授業のあり方

※この講習を受講する方は【選択】アクティブ・ラーニングによる道德授業(小川 哲哉)を受講することができません。

クラスCD	ロ-302	開講日・定員	10/25(日)・40名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	考え、議論する道德授業のあり方	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小川 哲哉 (おがわ てつや)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	小・中・高・特支教諭	担当時間	6時間
講習内容	<p>新学習指導要領においては主体的・対話的で深い学びが求められており、特に道德教育には考え、議論する授業の重要性が指摘されている。本講習では、考え、議論する道德の授業づくりを学んでいきたい。講習では、自我関与的な学習、問題解決学習、体験的な学習等を中心にした道德授業モデルを受講生諸氏と考え、主体的・対話的で深い学びはどのようにしたら実践できるのかを学んでいく。</p>		
到達目標	<p>1) 考え、議論する道德授業の理論と実践の理解を深める。 2) 読み物教材の登場人物への自我関与を行う授業、問題解決的な授業、道徳的行為に関する体験的な授業に対する理解を深める。 3) 授業の技術やスキルの習得を深める。</p>		
受講者への 事前連絡事項	<p>講義形式の授業も行うが、講習の大部分はグループワーク等による協働学習が中心となることをご承知おき頂きたい。</p>		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input type="checkbox"/> 実技考査 <input type="checkbox"/> 口頭試験 <input type="checkbox"/> その他 (備考)	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。 <input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。 (備考)

令和2年度 茨城大学教員免許状更新講習シラバス

【選択必修】教育の情報化Ⅱ

クラスCD	ロ-303	開講日・定員	10/25(日)・30名
対象職種	教諭、養護教諭、栄養教諭	講習会場	茨城大学水戸キャンパス
講習科目名	教育の情報化Ⅱ	講習の形態	講義・演習
担当講師名(ふりがな)	小林 祐紀 (こばやし ゆうき)	所属	教育学部
主な受講対象者 これ以外の希望者も受講可	全教員	担当時間	6時間
講習内容	教育の情報化に関する現状と今後の展望について、先進的な実践事例、日常的な実践事例をもとに講義する。また、授業で役立つ具体的なICT活用の内容と方法について、実習を交えて検討する。なお、小学校、中学校の事例を中心に講義を進める。		
到達目標	1) 情報化社会における学校教育の変化と課題を情報教育の視点から理解すること。 2) 新しい情報技術を利用した教育(授業)を構想し、指導する力量を培うことができる。		
受講者への 事前連絡事項	パソコンやタブレット端末の使用経験があること。		
成績評価の方法	<input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験	認定試験に関して	<input checked="" type="checkbox"/> 講習で使用した資料やノートなどの持ち込みを可とする。
	<input type="checkbox"/> 実技考査		<input type="checkbox"/> 持ち込みは不可とする。
	<input type="checkbox"/> 口頭試験		
	<input type="checkbox"/> その他		
	(備考)		(備考)